

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 2月 26日

事業所名 放課後等デイサービスささゆり (7配布7回収)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		運動や集団活動ができる広い空間がある 活動に応じてスペースを活用している	
	2	職員の配置数は適切である	7		基準より常時2~3人多い体制 職員間で声を掛け合う	事前に運動や学習、イベント等手薄とならないよう担当や役割を明確化する 個別対応時には声を掛ける
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		玄関以外はバリアフリー	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	必要に応じて検討会議を行っている	各業務について期日に間に合う体制を整える 作業時間、タイミング等自己管理を行うとともに、進んで報連相を行う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート調査後に会議を行い、課題の共有・改善点を検討している	必要に応じて、保護者の意向を共有・把握し、具体的な改善案を検討する
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページでの公開とともに保護者へ書面を配布している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		今後、検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		定期的な研修とともに、レポートによる振り返りを行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者を中心にみんなで意見を出し合っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		アセスメントシートを見て支援にあたっている	より一層客観的に把握するためのアセスメントシート項目を再検討する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		担当者を決め、サブの役割を明確にしている みんなで意見を出し合い、情報共有している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		活動内容や回数等をチェックし固定化しないよう工夫している 児童の人数、能力、特性等に応じて変更している	新しい活動を提案する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	楽しさを最重要視しながらねらいや目標設定している	長期休暇中の活動を工夫する 楽しさと児童の特性や課題とのバランスを考える
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	児童発達支援管理責任者を中心にみんなで意見を出し合っている	常に何のための支援が答えられる関わりを心掛ける ねらいを明確にするとともに、職員で共有ししっかりと評価していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼時に再確認を行っている	職員間での情報共有及び声を掛け合い報連相を行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼時にその日の出来事を振り返っている	発言しやすい雰囲気作り 時間の確保
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	全体的日報とともに、個別支援計画に基づいて記録している 必要に応じて、読み直している	保護者にHUGの記録を読んでもらっていないのが課題 一読してもらえるよう呼びかけや工夫を行う
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		モニタリング前に個別支援計画の会議を行い、みんなで意見を出し合っている		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	1	楽しさを最重要視しながらねらいや目標設定している	全職員がガイドラインを読み、理解を深める	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	事前にモニタリング意見書を作成し、児童発達支援管理責任者が参画している	直接支援している現場職員からの情報をしっかりと把握する
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		日頃より情報共有を意識し、こちらから求めるようにしている	保護者、学校による手違いやミスもあるが、事業所の確認ミスもあるため、確認漏れのない体制作り
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6		体制が整っていない為、実績もなければ今後の受け入れも難しい 車いす、喀痰吸引、胃瘻等に対する知識スキル不足 今後検討していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		保育所等に情報を求めるとともに、訪問させてもらっている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	6		現在、中学生及び高校生を受け入れていない為、今後必要に応じて検討していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	定期的にモニタリングを行い連携を図るとともに、直接様子をみに来てもらっている	積極的に研修に参加していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		今年度は、定期的に地域の児童が利用する自治会主催のひだまりサロン(学習、食事、世代間交流)、地区のクリスマス会に参加した	引き続き、交流できる場を広げていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7		今後検討していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		日頃よりHUGでの様子の共有のほか、引継ぎ時や送迎時に行っている	HUGを一読してもらえるよう呼びかけや工夫を行う
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5	主にモニタリング時に支援を行っている	今後保護者会からペアレントトレーニングに展開していく等積極的に行っていく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		丁寧かつ分かりやすさを心掛け説明している 今年度は物価高騰による自己負担が上がった為、文書により説明した	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	必要に応じて対応している	内容によってはしっかりと精査して支援・対応していく 些細な事でも児童発達支援管理責任者に伝え丁寧に対応していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	今年度は保護者会(おしゃべりサロン)を開催した	引き続き、積極的に開催していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	丁寧な対応を心掛けている	保護者だけでなく、児童からの苦情(意見)にも意識を高め対応していく 些細な事にも丁寧に対応し、苦情になる前に行動していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	『GO! GO!ささゆり』(日頃の様子やイベント時の会報)を発行している イベントカレンダーや台風における対応等文書で発信している	災害時等の緊急時の連絡体制を整えていく
	35	個人情報に十分注意している	7		研修を行い意識を高めている	日常会話の中でプライバシーに関することを質問しない職員自身の個人情報についても意識を高める
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		各家庭に応じた対応、配慮を心掛けている イベント前日には必要な持ち物等必要事項をLINEで伝えている	回収物は期日を口頭で伝えるとともに文書にも明記する 早め早めに連絡する
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	地区の自治会に役員として参画している 自治会の活動に児童が参加できる場合は参加している	招待することは難しい為、引き続き地域の活動に参加していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	研修や見直しを行っている 保護者には必要に応じてお知らせ等で周知している	全職員がマニュアルを読み、理解を深める 保護者には契約時に伝えていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		伊賀消防署に参加してもらい訓練を実施している 地震に関しては起震車体験も実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		定期的に研修を行い、意識を高めている	職員による認識の違いから差が出ないように理解を深めていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	6	身体拘束の必要性ではなく、支援をどう工夫していくか検討している	現在身体拘束を必要とする児童はいないが、定期的に研修を行い理解を深めていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	契約時にアレルギーの有無を確認している	現在、アレルギーに該当する児童はいないが、マニュアルをしっかりと読み、対応できる体制を整える
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	その日の出来事を振り返りヒヤリハットを共有している 記録に残しファイルで保管している	今まで以上にしっかりと共有するため、振り返りの時間を確保し些細な事でも言える雰囲気作りを心掛ける 具体的な対応策を検討する